

# 地質ニュース

昭和 52 年 11 月

第 279 号

1977

解 説

地質調査所研究本館の施設計画および建設状況……筑波計画室…1

静岡県清水市における地震予知のための  
水位および水質観測井の設置について……………加衣村垣池 藤笠下見田 善敏 完博夫弘喜代治…14

鉱石研磨面における二次電子放射ラジオグラフィ……………小尾五明  
佐藤 藤 俣 生…20

トピックス

動く火山列島 硫黄島……………川野辰男  
斉藤 藤 英 二…24

四万十帯あらかると

化石の墓場“古城山”と中筋構造帯……………甲藤次郎…30

構造地質学ノート③

グラルス断層運動とスイスアルプスの形成……………星野一男…40

海外事情

環太平洋マップ・プロジェクト

～北西クオドラント・パネルの作業の現状について～

……………環太平洋マップ・プロジェクト北西クオドラント・パネル…52

多里 TARI……………猪木幸男  
坂本 亨…62

編 集 地質調査所

表紙の写真

## タングステン鉱石の二次電子放射ラジオグラフ

暗黒の宇宙を背景に きらめく無数の星たち……と言えば秋の夜の話題にふさわしい。しかし これは星の写真ではなく 二次電子放射ラジオグラフィによるタングステン鉱石の実物大の写真である。白い点の一つ一つが灰重石 (CaWO<sub>4</sub>) というタングステン鉱物の粒子である。灰重石は脈石と区別しにくいので ふつう 暗い所で紫外線によって発光させ 鉱石中での分布や含量を調べる。しかしその方法では 表紙のような鮮明な写真を撮ることは難しい。ここで用いた方法は 試料の大きさに制限があるが 灰重石をはじめとする重金属鉱物の分布を記録するのに優れている。

この試料は 山口県藤ヶ谷鉱山の接触交代タングステン 鉱床の高品位な鉱石である。試料には磁硫鉄鉱や黄銅鉱も少量含まれ 写真には暗灰色に映っている。暗黒の部分は 重い元素を含まない石英・斜長石・白雲母・緑泥石・方解石などの鉱物からなっている。この縞状構造から 藤ヶ谷鉱床堆積成因説を唱えたいくなるむきもあるかもしれないが 筆者の調査によると この縞は層理面やその残存構造ではなく 交代作用の何らかのメカニズムにより形成されたものと思われる。

(文と写真 鉱床部 佐藤興平・小尾五明)

発行 株式会社 実業公報社